

アジア・キリスト教・多元性

第 17 号

特集 「キリスト教殉教と歴史的記憶」

- まえがき (01)
- マカバイ殉教者を記憶する初代教会の思想 浅野 淳博 (03)
- キリシタン時代における殉教の理解と記憶 狭間 芳樹 (11)
- 日本の殉教者の歴史的記憶と宗教的アイデンティティ トロヌ・カルラ (23)
- 現代日本における殉教論と歴史的記憶 芦名 定道 (35)
- コメント 岩野 祐介 (47)

論文

- 海老名弾正の黒住教理解 洪 伊 杓 (50)
- 聖公会の在朝日本人伝道——英国人宣教師バジル・シンプソンの報告を中心に——
..... 松山 健作 (77)
- 内村鑑三における「東北」の概念——地方の観点からの「日本」概念の分析——
..... 渡部 和隆 (95)

随想

- ハイデッガーの嘆き——何故西洋の思想・言語は息苦しいか——
..... 高橋 勝幸 (131)
- あとがき 芦名 定道 (149)

2019年3月

「アジア・キリスト教・多元性」研究会

研究会の活動内容（2018年度）

第170回・研究会（5月）

日 時：2018年5月19日（土曜日）14時～16時

場 所：京都大学・キリスト教学研究室

・研究発表：山本美紀「1920-30年代のメディアの社会福祉事業とキリスト教——朝日新聞のコドモ関連読み物を中心に——」

第171回・研究会（6月）

日 時：2018年6月23日（土曜日）14時30分～17時

場 所：京都大学・キリスト教学研究室

・研究発表：森 宣雄「近代日本の民衆神学思想を考える——別所梅之助と民衆史——」

第172回・研究会（7月）

日 時：2018年7月20日（金曜日）13時～17時

場 所：NCC宗教研究所

・ジャーナル16号掲載論文の合評会（コメント担当：芦名定道）

神山美奈子著「日本キリスト教婦人矯風会と朝鮮基督教女子節制会の合併に関する一考察」

・日本宗教学会2018年度学術大会に向けて

浅野淳博「マカバイ殉教者を記憶する初代教会の思想」

狭間芳樹「キリシタン時代における殉教の理解と記憶」

トロス・カルラ「日本の殉教者の歴史的記憶と宗教的アイデンティティ」

芦名定道「現代日本における殉教論と歴史的記憶」

第173回・研究会（9月）

日 時：2018年9月22日（土曜日）15時～17時

場 所：京都大学・キリスト教学研究室

研究発表：松山健作「英国人宣教師の見た朝鮮——バジル・シンプソンの報告を中心に——」

第174回・研究会

日 時：2018年10月20日（土曜日）15時～17時

場 所：京都大学・キリスト教学研究室

研究発表：裊 貴得「植民地期朝鮮キリスト教会の「自立」をめぐる諸相——1910年代と1930年代の朝鮮教会の自立問題を中心に——」

第175回・研究会

日 時：2018年11月24日（土曜日）15時～17時

場 所：京都大学・キリスト教学研究室

書評：長谷川（間瀬）恵美著『深い河の流れ——宗教多元主義への道』（担当者：狭間芳樹）

第 176 回・研究会

日 時：2018 年 12 月 21 日（金曜日） 13 時～ 15 時

場 所：NCC 宗教研究所

研究発表：洪 伊杓「海老名弾正の黒住教理解」

第 177 回・研究会

日 時：2019 年 1 月 25 日（金曜日） 13 時～ 17 時

場 所：NCC 宗教研究所

研究発表 1：高橋勝幸「ハイデッガーの嘆き——何故西洋の思想・言語は息苦しいか——」

研究発表 2：金 香花「松山高吉の一次資料の一つに対する小考」

第 178 回・研究会

日 時：2019 年 2 月 22 日（金曜日） 13 時～ 17 時

場 所：NCC 宗教研究所

研究発表 1：役重善洋「総動員体制下日本の植民地・占領地におけるキリスト教伝道——東亜伝道会台湾地方部による華南地方伝道を事例として——」

研究発表 2：金 香花「松山高吉の一次資料の一つに対する小考（2）」

第 179 回・研究会

日 時：2019 年 3 月 15 日（金曜日） 13 時～ 17 時

場 所：NCC 宗教研究所

・研究発表：渡部和隆「内村鑑三における「東北」の概念——地方の観点からの「日本」概念の分析」

・2018 年度総会の開催

◆『アジア・キリスト教・多元性』第17号をお届けいたします。

本研究雑誌は、「アジア・キリスト教・多元性」研究会の研究活動報告論文集として刊行され、本研究会の前身となる旧「アジア・日本のキリスト教と宗教的多元性」研究会の研究ジャーナルから数えて通算して第17号を迎えました。今回も、執筆者の方々はもちろん、研究会での議論に参加いただいたメンバーの方々、特に、編集担当者に全面的な協力をいただくことによって、無事に刊行することができました。この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。

本研究論文集は創刊号より、電子ジャーナルをめざして刊行されてきましたが、第13号までは、必要部数に限り、冊子体での刊行も行ってきました。しかし、第14号からは、冊子体なしの完全な電子ジャーナルとして、研究会のホームページにおける公開のみということになりました（保存用冊子は別にして）。なお、2008年度からは、京都大学学術情報リポジトリにも、登録されておりますが、その点は変わりありません。

◆2018年度の研究会の活動の詳細については、本号の「研究会の活動内容（2018年度）」あるいは研究会のホームページに記載された通りですが、例年通り、毎月ほぼ1回程度の研究発表会が開催され、活発な討論が行われました。また、本研究会に関連した活動としては、この第17号に掲載の特集「キリスト教殉教と歴史的記憶」にあるように、2018年度の日本宗教学会第77回学術大会（大谷大学、9月9日）において、本研究会のメンバーを中心としたパネル発表を実施しました。毎月1回の研究会のほか、本研究会における共同研究が外部に対して公開されることは研究会によって意義ある企画です。今後も、積極的にさまざまな試みを行い、研究会の研究活動を活性化してゆきたいと思っております。

◆2019年3月15日に本研究会の総会が行われ、2019年度の研究会役員は、2018年度の継続ということで承認されました。また、2019年度の研究会活動についても、毎月の研究会の実施と年度末の研究雑誌の刊行を中心にすることが確認されました。研究会の会場としては、引き続き、NCC宗教研究所をお借りし、必要に応じて、ほかの会場（京都大学など）を使用したいと思います。

◆研究会メンバーのこの1年の近況をご報告いたします。金香花さんと渡部和隆さんが京都大学で、また神山美奈子さんが関西学院大学で、課程博士学位を取得されました。論文題目は、金香花「訳語論争への再考察」、渡部和隆「内村鑑三のキリスト教思想」、神山美奈子「日本キリスト教婦人矯風会の朝鮮理解に関する宣教学的考察」です。いずれの論文も、本研究会での研究発表がもとになったものであり、研究会での研究活動が大きな実を結んだことは、研究会としても嬉しいニュースです。また、昨年11月の研究会で、書評（狭間さん担当）が行われましたように、長谷川（間瀬）恵美さんが、著書『深い河の流れ——宗教多元主義への道』（春風社）を出版されました。お喜びいたします。

◆2019年4月の研究会では、例年通りこの第17号の合評会を行います。いくつかの論文を取りあげ議論を行う予定ですが、研究会メンバーのみならず、具体的な日時や内容について後日ご案内いたします。

◆今後とも、本研究会のために、各方面からのご協力を賜りますよう、よろしく、お願い申し上げます。

2019年3月
研究会・研究活動担当
芦名 定道

ASIA CHRISTIANITY DIVERSITY

XVII

CONTENTS

JARS Panel Report "Christian martyrdom and historical memory"	
Introduction	TRONU Carla (01)
Memory of Maccabean Martyrs in the First Christian Thoughts	ASANO Atsuhiko (02)
The historical memory and Kirishitan's Martyrdom in Early Modern Japan	HAZAMA Yoshiki (11)
Historical Memory of the Martyrs of Japan and Religious Identity	TRONU Carla (23)
Martyrdom thought and historical memory in contemporary Japan	ASHINA Sadamichi (35)
Comments	IWANO Yusuke (47)
Articles	
Understanding on <i>Kurozumikyo</i> of EBINA Danjo	HONG YiPyo (50)
The Japanese Anglican church of Korea-Focusing on reports of English Missionary Basil Simpson	MATSUYAMA Kensaku (77)
"Tohoku" in the thought of Uchimura Kanzo: Analysis of "Japan" from a viewpoint of regionalism	WATANABE Kazutaka (95)
Notes	
Heidegger's lamentation: Narrowness of Western thoughts and languages	TAKAHASHI Katsuyuki (131)
Postscript	ASHINA Sadamichi (149)

March, 2019

Study Group for Christianity and Diversity in Asia
Kyoto Japan

ISSN 2432-1796